



## TOPICS

8月4日(木) 5日(金)の両日にわたり、沼津市民文化センターほかを会場として、第32回東海地区学校図書館研究大会が開催され、三重、岐阜、愛知、静岡の各県から、多くの参加者がありました。

4日には、全国学校図書館協議会理事長より「学校図書館の現状と課題」についての報告の後、詩人・文芸評論家の大岡信氏が「友との出会い 本とのあいさつ」と題して記念講演を行いました。

5日には、5会場、13の分科会に分かれ、各県、各学校における取り組みについての報告を通して、新しい学校図書館のあり方を探りました。

裏面にて内容を簡単にご紹介します。

### 子ども図書研究室のテーマ展示

- 「クリスマス・お正月の本」(11月末まで)
- 「新しく入った外国語絵本」(10月末まで)
- 「第17回読書感想画中央コンクール指定図書」

### イベント情報

学校図書館スキルアップ講座

1.日時：10月15日(土) 10:00～12:00

内容：「学校図書館の改築 リニューアル」

講師：八木澤壮一(共立女子大学教授)

2.日時：10月15日(土) 13:00～15:00

内容：「読書へのアニメーション」

講師：黒木秀子(アニメーション研究会主宰)

問合せ：全国学校図書館協議会

電話 03-3814-4317

有料です。会場はいずれも学校図書館センター  
会議室(〒112-0003 文京区春日2-2-7)

## 新着図書から

『きたきたうずまき』

『川べのちいさなモグラ紳士』



0.1.2. えほん  
元永 定正 / 作  
福音館書店  
2005年5月

こまき、おおまき、赤、黄、青、緑、紫といったカラフルな渦巻きが、「くるりんくるくる」と楽しい擬音語とともに次々現れる絵本。くるくるくるりんとうずまきと目がまわるほどいっぱい、リズムカルにひろがり、声に出すと、動かないものが動くように感じる、そんな不思議な感覚を与えてくれます。

言葉が増え始めてきた0歳から2歳ぐらいの子どもへの読み聞かせにぴったりな1冊です。作者は「もこもこもこ」「カニツンツン」「もけらもけら」の元永定正氏。(栗山)



フィリパ・ピアス / 作  
岩波書店  
2005年5月

少女ベットは、怪我をしたフランクリンさんの代わりに、誰もいない川辺で、声を出して本を読むように頼まれます。そこで、300年前イギリス王室の争いに巻き込まれ、魔法のために死ななくなり、話もできる「モグラ」と出会います。やがて、2人の間に友情が芽生え…。少女の複雑な家庭環境の話も描かれ、現実と結びつけたファンタジーです。

2005年ガーディアン賞候補作品。ピアス氏著の『トムは真夜中の庭で』は1958年カーネギー賞受賞。【小学校高学年から】(殿岡)

## 第32回東海地区 学校図書館研究大会 報告

**講**演会では、沼津中学で青春時代を過ごされた大岡信氏が、自身の中学時代の思い出として、戦後間もない頃に同人誌「鬼の詞(ことば)」を発行したいきさつを語られました。最後に中学4年生の頃(現在の高校1年)に作られた「朝の頌歌(ほめうた)」を紹介し、学生の頃に友と出会い、良き理解者である教師と出会い、文学に出会ったことが、自らの創造へのスタートであったと締めくくられました。(中村都)

**管**理運営・高等学校の分科会から  
三重県内の学校図書館間も含めた公立図書館と学校図書館における相互検索・相互貸借システムを構築する事業が比較的順調に進んでいる理由の一つに、北川前知事の打ち出した「相互貸借日本一」構想があるとのことでした。静岡県でも「読書県しずおか」の構想を前面に打ち出し、各種の事業が更にうまく進められるよう工夫していく必要性を痛感しました。(吉田)

**利**用指導・高等学校の分科会から  
高等学校においては、「この生徒が学校教育を受けるのはこれが最後かもしれない」と意識して生徒と接する場面が多々ありますが、学校図書館もその場面のひとつだと事例紹介から再確認しました。三重県立石薬師高校図書館だより卒業記念号では近隣の公立図書館11館のプロフィールが紹介されており、卒業後も生涯図書館を活用して行ってほしいという司書の気持ちが伝わってきて、共感を覚えました。(渡辺)

**読**書指導・高等学校の分科会から  
静岡県立池新田高校、岐阜県立犬山高校の実践発表がありました。高校生にとって読書習慣や学校図書館が身近になるように、図書ニュースの発行や朝読書への取り組み等、全校体制の中で様々な工夫がされており、興味深いもの

でした。しかし、発表者からも提案されましたが、本を読まない生徒に対してどのように読書を習慣化するかは今後の課題であり、それは高校生に限らず、子どもたち全体の問題と言えるでしょう。(中村都)

**読**書指導・小学校の分科会から -  
読み聞かせをした本には飛びつくが、その後の読書につながらない子どもがいるとして、読みたい本を自分で見つける力を育てるための実践についての報告がありました。ミニブックトーク、ブックカード作成、ブックマップ作成の順に指導することで、選書の観点を用いて、関連する本へと読みたい本を広げていくことができるようにするというもの。子どもたちが楽しんで取り組む様子が紹介されました。(鈴木)

**出**席した分科会の中から、これはという点のみに絞って御紹介しました。すべてを御紹介できないのが残念ですが、他の分科会においても熱心な意見のやりとりがなされていました。

### 所蔵資料から

『朝の頌歌(ほめうた)』



ジュニアポエムシリーズ 53  
大岡 信 / 著  
葉 祥明 / 絵  
銀の鈴社  
1991年12月

大岡信氏が講演会で紹介された「朝の頌歌」のほか、同じ年に作られた「夏の訪れ」や、翌年の作品である「夜の歌」など、全33編からなる詩集。西洋詩の翻訳、藤原俊成の和歌から生まれた詩なども含まれ、様々な詩の味わいを楽しむことができます。

あとがきでは、大岡信氏が詩の魅力について短くも熱く、若い読者に向けて語っています。  
【小学校高学年から】 (鈴木)